

— 総括表 —

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

◀地域の現状▶

【神大寺】

人口 13,257人 ↓ (2022/9現在)

[14歳以下 1,378人 ↓ 65歳以上 3,618人 ↑ 75歳以上 1,913人 ↑ 高齢化率 27.2% ↑]

戸建てと集合住宅が広がる、山坂が多い住宅地である。昨年より町内会では、毎月27日に防災パトロールが開始され防災対策の強化に向けて動いている。また高齢化率は3地区内で一番高く、このコロナ禍で足腰の筋力低下がみられる高齢者が少なくない状況である。地域(地区社協)ではフレイル予防として「健康ファス」を開催したりと健康を意識した取り組みを行っている。つくし会(昼食会)では、高齢者が自分の足で参加するような出向きの場としての取り組みを設けている。昨年より地域福祉保健計画を進めるコアメンバーチームが発足し、地域福祉に対する意識が向上している。

【片倉】

人口 14,001人 ↑ (2022/9現在)

[14歳以下 1,740人 ↓ 65歳以上 3,041人 ↑ 75歳以上 1,676人 ↑ 高齢化率 21.7% →]

ブルーラインの駅を中心に南北に伸びた農地や自然公園もある住宅地である。戸建てが多いが、集合住宅も多く散在している。地域福祉保健計画に関しては、地区推進会議開催後に地域住民への周知の為「支え愛プラン通信(地福)」を発行しているなど福祉活動への理解がある地域である。区内連合地区21地区中3地区が民生委員の欠員がない中、片倉地区はこの中の1地区であり、地区全体で見守り活動を強化している。また片倉地区は近隣の小学校(1校)と子供の育成に対して連携を取り合っている。また子どもの居場所づくり再開に向けて活動しており、コロナ禍で中止していた「かたくらんど」が昨年12月に再開する。小学校と連携を取って子どものセーフティネット強化に向けて取り組んでいる。地域内にある金融機関が移転したり閉店したりと、生活に支障をきたしている高齢者も少なくない状況である。

【三枚】

人口 5,343人 ↑ (2022/9現在)

[14歳以下 825人 → 65歳以上 1,016人 ↑ 75歳以上 469人 ↑ 高齢化率 19.0% ↑]

農地や樹林地など、緑豊かな環境の地と住宅地となる地域であり、上町エリアと下町エリアに分かれている。2町会は住民同士の繋がりに力を入れた取り組みが多く、ランドゴルフ、ボーリング、健康麻雀、食事会など、自治会やシニアクラブを中心にした活動が活発に行われている。また新駅開業の頃より住宅地が増えるとともに子供の数も増えてきている。年少人口の増加に伴い子供会の活動も増えており、子どもを通じての繋がりが強い。高齢化率も神奈川区平均より低くここ数年維持している。また交通環境では、商業施設までの交通が不便であることから、地域では民間企業の移動販売開始に向けての計画が動き始めている。

※人口統計数の矢印は、2021年9月と比較(横浜市ポータルサイトより)

◀今後の方向性▶

地域の生活の質の向上のためネットワーク構築の強化に向け取り組んでいく。

地域と双方向の情報交換を心がけながら地域課題に取り組んでいく。

今年度の重点的な取組

新規  
継続

— 具体的な取組内容 —

■	<input type="checkbox"/>	三枚地区5月(上三枚自治会館)神大寺地区10月(神大寺地区センター)片倉地区2月(片倉生協)に出向き見守りキーホルダー登録会と出張相談会を年1回程度行う。
■	<input type="checkbox"/>	身近な場所に、民間の移動販売車を通し住民同士が繋がることが出来る取組を地域住民と共有しながら進めていく。
■	<input type="checkbox"/>	R6年2・3月に2回コースで遺言作成と任意後見契約について地域住民向けに講座を行う。
■	<input type="checkbox"/>	横浜市地域活動リハビリテーション支援事業を活用しPTを講師に招き、ケアマジャー向けにICFについての勉強会を開催、自立視点を重視したケアプラン作成が作成できるよう支援する。
■	<input type="checkbox"/>	地域や介護支援事業者に参加を依頼し、「長期化したコロナ禍で何が起こったか？」をテーマに包括レベル地域ケア会議を開催し課題の整理を行い地域支援の介入の糸口とすることができる。

◆ 事業報告・事業実績評価

--

--

<input type="checkbox"/> 区からのコメント
-----------------------------------

--

# 令和5年度片倉三枚地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

## 1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	<p>■予防支援計画の委託に関しては、利用者の希望に沿って行い、特定の事業者には偏らないようホームページなどを提示したうえでサービス事業所を選択してもらうなどし、偏って支援することがないように公正中立を心掛け業務に努める。</p>	<p>■日々業務内に発生したヒヤリハット・事故報告を共有し事故防止・再発防止に努める。また事故発生リスクが高い環境にある通所介護では事故の原因の分析、事故再発防止に努める。</p> <p>■個人情報を取り扱う場合はより慎重に行い、保管場所への施錠、送付する場合のダブルチェックの徹底など取扱い管理の強化に努める。</p>
実績		

## 2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	<p>■生活支援コーディネーター及び地域活動交流コーディネーターと情報共有や協力体制が出来ている。</p> <p>■利用者本人自らが計画作成に参画して、利用者本人が納得した計画を作成することが出来る。</p>	<p>■関連機関と連携し、包括的継続的ケアマネジメントが実践できるようになる。</p> <p>■住み慣れた地域で本人が望む生活が実現できるよう、個々のACPを実践できるようになる。</p>
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額</p> <p>【その他料金】</p>
職員体制	看護師1名、主任介護支援専門員1名、社会福祉士2名、介護支援専門員1名 計5名	管理者(兼務)1名 常勤1名 非常勤2名 計4名
契約者数		

## 3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	利用者の「出来る事」の継続、「やりたい事」が増やせ、在宅生活が維持できるような、生活を意識した生活支援を行う。	「ご自身のやりたい事」「自分の事を自分で選択できる」を目標に、地域生活の継続を援助する。	実施していません
実施体制	<p>【実施日数】 週6日(月～土) 介護予防・第1号は週5日(月～金)</p> <p>【提供時間】 9:30～16:30 介護予防・第1号は9:30～13:30</p> <p>【定員】 通所38名</p>	<p>【実施日数】 週6日(月～土)</p> <p>【提供時間】 9:30～16:30</p> <p>【定員】 12名</p>	
利用料金	<p>【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額</p> <p>【その他料金】 実費分 昼食代810円/個別活動費 実費</p>	<p>【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額</p> <p>【その他料金】 実費分 昼食代810円/個別活動費 実費</p>	
職員体制	管理者1名/生活相談員2名 介護職員11名/看護師4名 送迎運転手10名	管理者1名/生活相談員2名 介護職員11名/看護師4名 送迎運転手10名	
契約者数等	<p>【延べ利用者数】</p> <p>【契約者数】</p>	<p>【延べ利用者数】</p> <p>【契約者数】</p>	

令和5年度 自主事業計画書・報告書

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）			<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業			<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
1	健康ひろば (介護予防講座)	R2	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	高齢者を対象に介護予防に関する知識の普及・啓発を図り高齢者が自ら日常生活で取り組みを実践する方法を周知する。	1:高齢者	5:地域	年3回程度開催予定
2	ウォーキングで体力づくり	R4	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	屋外で取り組める健康講座を開催し高齢者の健康の維持・増進を図る。	1:高齢者	5:地域	年2回程度開催予定
3	民生委委員との交流会	R5	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ケアプラザだけでは掴み切れない情報を地域活動者得ることで必要な支援が必要な人に届く体制を整え行く必要がある。民生委員は改正に伴い委員の入れ替えもあり関係の再構築が必要である。	5:地域		各地区(神大寺・片倉・三枚)1回/年開催予定
4	おれんじろぼ連絡会	R5	2:地域包括支援センター運営事業	2:発展させるねらい	当エリア内の認知症キャラバンメイトが組織化し【おれんじろぼ】がたちあがった。今後はキャラバンメイトチームとして地域での認知症普及啓発活動をおこなっていくため地域とケアプラザで地域課題を共有しながら活動できる体制づくりを整える。	5:地域		年2回程度開催予し必要に応じて臨時での開催も検討する。
5	ケアマネジャーと民生委員との交流会	R5	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	ケアマネジャーと民生委員とのネットワーク構築が不十分であるとの課題はあったものの新型コロナウイルスの感染拡大の状況によりこの3年間ケアマネジャーと民生委員との連絡会は実施できていない。コロナ禍となり取り巻く環境も変化し更に支援者同士の連携が必要であると考ええる。	6:事業者	5:地域	年1回程度開催予定
6	ケアマネジャー向けICF勉強会	R5	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	心身機能の維持向上に努め重度化や閉じこもり予防するためにサービス利用について利用者と一緒に考えいく。またセルフケアを重視し自立を促し意欲を引き出すケアプランができるようケアマネジャーを対象に横浜市リハビリテーション事業を活用しPTを講師にお呼びしICFについての勉強会を開催する。	6:事業者		年1回程度開催予定
7	市民公開講座	R3	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	ACPを地域に普及啓発する役割を担っており地域住民向けに講演会などを開催しACPについて普及・啓発していく必要があると考えるが、地域住民になかなか興味をもって頂ける内容でないとも感じている。しかし前年度、医師と僧侶のコラボによる人生の終末期に向けた講演会では募集定員を超過する申し込みがあり参加をお断りし地域住民の関心の高さが伺えた。	5:地域		11月に地域ケアプラザ協力医の協力医得て市民向け講座を行う。前年度講評であったACPを医療と仏教の両面から考えるをテーマで行う。
8	ステップアップ研修	R4	5:共催(1と3)	1:優先的に取り組み	地域住民協力のもと認知症に関する事業を多く開催しているが支援者視点で開催することも少なくない。横浜市が実施しているチームオレンジ事業を活用し支援者同士で地域課題を共有したり当事者やその家族の視点を踏まえた認知症取り組みができる地域を目指す。	5:地域		認知症ステップアップ研修を開催し地域においてチームオレンジのメンバーになることのできる人材の養成を行う。年数回開催予定

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他		
---	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
9	いろばた茶屋	H30	7：共催（1と2と3）	1：優先的に取り組み	包括担当エリアの総合相談を受ける中で資源につながりにくい人を専門職が介入することで状況に応じタイムリーな支援につなげることができている。また包括エリアの広範囲の参加者が参加しやすい体制作りとしてボランティアによる送迎サービスがある。	5：地域		毎月第2土曜日 13:00～14:00 当事者の出向きの場や居場所の提供を目的とした取組。
10	介護者のつどい	H29	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	前年度、身近な場所をつどいを開催したところ介護者から気軽に参加できるとの声が聞かれた。今後もこの形で継続していく。また「介護者のつどい」の開催目的は介護の負担軽減・ストレス緩和・介護の情報提供であるため必要に応じ介護に役立つ情報も提供していく。	5：地域		地域は神大寺6月、片倉8月、三枚10月に実施。開催時間は1時間。 上記以外にも、ニーズに応じ講座を設ける。 5月外出支援、11月音楽会、3月講演会を開催予定
11	みまもりキーホルダー登録会と相談会	R5	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	みまもりキーホルダー登録会を地域に出向き行ったところ登録がきっかけで総合相談につながったケースがあった。このことから総合相談へのきっかけとして登録会と相談会を行う。	1：高齢者	7：その他	各地域で三枚5月、神大寺10月、片倉2月に実施予定。時間は相談会も含めて2時間とする。
12	エンディングノート普及啓発講座	H31	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	神奈川県版エンディングノート(ライフデザインノート)の活用がされていない現状があり普及啓発・利用促進のため地域住民や専門職に対し普及啓発活動を継続し行う必要がある。	5：地域	6：事業者	神奈川県地域包括支援センター連絡会にて開催内容を検討。 年間1、2回開催予定
13	介護保険サービス事業者向け虐待研修	R5	2：地域包括支援センター運営事業	1：優先的に取り組み	昨年度虐待ケースを分析した結果、居宅支援事業所からの虐待報告が多い事がわかった。発見しているのは介護支援サービス事業所であり、その後居宅支援事業所、地域包括支援センターと把握までの流れが多くある。虐待を発見する頻度の高さから虐待について早期発見が行えるよう介護保険事業所全体が学べる機会を作る。	6：事業者		介護保険サービス事業者向けに虐待について早期発見が行えるような内容で開催 7/26PM開催予定。

<b>■ 事業</b> 1：地域活動交流事業    2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業    4：共催（1と2）    5：共催（1と3） 6：共催（2と3）    7：共催（1と2と3）		<b>■ 事業の性質</b> 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		<b>■ 主な対象者、従たる対象者</b> 1：高齢者    2：障害児・者    3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年    5：地域    6：事業者 7：その他	
---	--	---	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期
14	遺言作成、任意後見を知ろう	R5	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	判断能力のあるうちに、その人らしい最期を迎える為の備えとして遺言作成や任意後見契約等を地域住民に普及啓発していく。	5: 地域		事業目的に応じた地域住民向けの遺言作成、任意後見について講座を開催する。 R6年2月3月2回自コース実施予定
15	司法書士の無料相談会	H23	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民が士業に成年後見制度等について相談する機会は少ない。身近なケアプラザで士業の無料相談会を開催する必要がある。	5: 地域	7: その他	司法書士による1組30分の無料相談を行う 6/24開催予定 主催: 神奈川区包括支援センター連絡会/神奈川区社会福祉協議会
16	行政書士の無料相談会	H23	2: 地域包括支援センター運営事業	1: 優先的に取り組み	地域住民が士業に成年後見制度等について相談する機会は少ない。身近なケアプラザで士業の無料相談会を開催する必要がある。	5: 地域	7: その他	行政書士による1組30分の無料相談を行う 10/21開催予定 主催: 神奈川区包括支援センター連絡会/神奈川区社会福祉協議会
17	いろばた茶屋かたくら店	R4	6: 共催(2と3)	1: 優先的に取り組み	認知症カフェとして認知症高齢者の居場所づくり、介護者の気分転換、地域への認知症啓発の他、認知症サポーターの活動の場や、事業所と地域のネットワークづくりを進めていく	5: 地域	5: 地域	毎月第1木曜日 10:30~12:00 当事者の出向きの場や交流の場とした取組。認知症サポーターの活躍の場であり、同行支援や傾聴を行っている。
18	グリーンピア片倉交流会	H28	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	高齢期での転居のため、地域や住宅内での孤立・孤独が課題となっている。住民同士の交流の場づくりをし、身近なテーマで話し合う場を設け、近隣との助け合いを構築する。民生委員や地域の専門機関と連携を図り地域社会との関わりを増やす。	1: 高齢者	1: 高齢者	毎月第3月曜日 10:30~12:00 身近なテーマ(防災・詐欺被害・医療・介護など)で話し合い、住民同士の交流を深める。
18	ヒルズ神大寺おもいやり会	H28	3: 生活支援体制整備事業	2: 発展させるねらい	高齢期での転居のため、地域や住宅内での孤立・孤独が課題となっている。住民同士の交流の場づくりをし、ミニ講座開催や身近なテーマで話し合う場を設け様々な情報を提供し、自立した生活を支援していき。自助・共助の力を養う場。	1: 高齢者	1: 高齢者	毎月第4木曜日 14:00~15:30 身近なテーマ(防災・詐欺被害・医療・介護など)で話し合い、住民同士の交流を深める。

令和5年度「片倉三枚地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	18,932,421		18,932,421		18,932,421	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	250,000		250,000		250,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	3,264,118		3,264,118		3,264,118	
収入合計	22,446,539	0	22,446,539	0	22,446,539	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,140,000	0	12,140,000	0	12,140,000	
本俸	8,000,000		8,000,000		8,000,000	
社会保険料	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
手当計	2,800,000		2,800,000		2,800,000	
健康診断費	40,000		40,000		40,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他	100,000		100,000		100,000	
事務費	1,276,539	0	1,276,539	0	1,276,539	
旅費	100,000		100,000		100,000	
消耗品費	350,000		350,000		350,000	
会議開費	50,000		50,000		50,000	
印刷製本費	200,000		200,000		200,000	
通信費	200,000		200,000		200,000	
使用料及び賃借料	21,000	0	21,000	0	21,000	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	21,000		21,000		21,000	
その他	0		0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	50,000		50,000		50,000	
手数料	30,000		30,000		30,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	25,539		25,539		25,539	
事業費	306,000	0	306,000	0	306,000	
運営協議会経費	42,000		42,000		42,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	264,000		264,000		264,000	
その他	0		0		0	
管理費	7,050,000	0	7,050,000	0	7,050,000	
光熱水費	4,000,000		4,000,000		4,000,000	
清掃費	1,600,000		1,600,000		1,600,000	
機械整備費	400,000		400,000		400,000	
設備保全費	1,050,000	0	1,050,000	0	1,050,000	
空調衛生設備保守	400,000		400,000		400,000	
消防設備保守	100,000		100,000		100,000	
電気設備保守	100,000		100,000		100,000	
害虫駆除清掃保守	50,000		50,000		50,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	400,000		400,000		400,000	
共益費	0		0		0	
その他	0		0		0	
修繕費	474,000		474,000		474,000	予算：指定額
公租公課	1,200,000	0	1,200,000	0	1,200,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	22,446,539	0	22,446,539	0	22,446,539	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	250,000	0	250,000	0	250,000	
自主事業費 支出	264,000	0	264,000	0	264,000	
自主事業 収支	△ 14,000	0	△ 14,000	0	△ 14,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	21,000	0	21,000	0	21,000	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	△ 21,000	0	△ 21,000	0	△ 21,000	

※各大大目目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

令和5年度「片倉三枚地域ケアプラザ」  
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括等＞

収入の部

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	33,212,236		33,212,236		33,212,236	横浜市より
指定管理料【介護予防】	154,000		154,000		154,000	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,872,697		5,872,697		5,872,697	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	20,000		20,000		20,000	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0		0		0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	5,000		5,000		5,000	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	2,772,500		2,772,500		2,772,500	
収入合計	42,336,433	0	42,336,433	0	42,336,433	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	36,740,000	0	36,740,000	0	36,740,000	
本俸	19,000,000		19,000,000		19,000,000	
社会保険料	6,000,000		6,000,000		6,000,000	
手当計	11,000,000		11,000,000		11,000,000	
健康診断費	40,000		40,000		40,000	
勤労者福祉共済掛金	0		0		0	
退職給付引当金繰入額	0		0		0	
その他	700,000		700,000		700,000	
事務費	1,870,433	0	1,870,433	0	1,870,433	
旅費	180,000		180,000		180,000	
消耗品費	500,000		500,000		500,000	
会議費	20,000		20,000		20,000	
印刷製本費	300,000		300,000		300,000	
通信費	300,000		300,000		300,000	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0		0	
その他	0		0		0	
備品購入費	200,000		200,000		200,000	
図書購入費	0		0		0	
施設賠償責任保険	0		0		0	
職員等研修費	50,000		50,000		50,000	
振込手数料	0		0		0	
リース料	100,000		100,000		100,000	
手数料	120,000		120,000		120,000	
地域協力費	0		0		0	
その他	100,433		100,433		100,433	
事業費	1,490,000	0	1,490,000	0	1,490,000	
協力医	630,000		630,000		630,000	予算：指定額
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	100,000		100,000		100,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	151,000		151,000		151,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	300,000		300,000		300,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	309,000		309,000		309,000	
その他	0		0		0	
管理費	2,110,000	0	2,110,000	0	2,110,000	
光熱水費	1,200,000		1,200,000		1,200,000	
清掃費	400,000		400,000		400,000	
機械整備費	80,000		80,000		80,000	
設備保全費	280,000	0	280,000	0	280,000	
空調衛生設備保守	120,000		120,000		120,000	
消防設備保守	15,000		15,000		15,000	
電気設備保守	15,000		15,000		15,000	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	120,000		120,000		120,000	
共益費	0		0		0	
その他	150,000		150,000		150,000	
修繕費	126,000		126,000		126,000	予算：指定額
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税	0		0		0	
消費税	0		0		0	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	42,336,433	0	42,336,433	0	42,336,433	
差引	0	0	0	0	0	

自主事業費 収入	25,000	0	25,000	0	25,000	
自主事業費 支出	860,000	0	860,000	0	860,000	
自主事業 収支	△ 835,000	0	△ 835,000	0	△ 835,000	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。



令和5年度 地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: 片倉三枚地域ケアプラザ

R5年4月1日～ R6年3月31日

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援・介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護			認知症対応型通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	14,000		14,000	25,454		25,454	76,324		76,324	3,966		3,966	24,665		24,665
	その他	0		0	178		178	120		120	0		0	0		0
	事業・負担金収入	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	その他	0		0	178		178	120		120	0		0	0		0
	<b>収入合計(A)</b>	14,000	0	14,000	25,632	0	25,632	76,444	0	76,444	3,966	0	3,966	24,665	0	24,665
支出	人件費	4,000		4,000	19,080		19,080	67,694		67,694	0		0	0		0
	事務費	300		300	1,832		1,832	16,200		16,200	0		0	0		0
	事業費	0		0	384		384	11,280		11,280	0		0	0		0
	管理費	200		200	1,000		1,000	7,600		7,600	0		0	0		0
	その他	9,000		9,000	0		0	0	0	0	0		0	0		0
	利用者負担軽減額	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	消費税	0		0	0		0	0		0	0		0	0		0
	介護予防プラン委託料	9,000		9,000	0		0	0		0	0		0	0		0
	その他	0	0	0	0		0	0		0	0		0	0		0
	<b>支出合計(B)</b>	13,500	0	13,500	22,296	0	22,296	102,774	0	102,774	0	0	0	0	0	0
	<b>収支 (A) - (B)</b>	500	0	500	3,336	0	3,336	-26,330	0	-26,330	3,966	0	3,966	24,665	0	24,665